

## I. 2018年度事業報告（2018年3月1日から2019年2月28日まで）

## 【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」, 論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

## 会誌送付の状況

(2019年2月末現在)

	化学と生物 (第57巻, 第2号)		Biosci. Biotechnol. Biochem (第83巻, 第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名誉会員	6	1	10	1
有功会員	71	0	11	0
シニア会員	223	0	11	0
一般会員	359	1	182	0
教育会員	83	0	4	0
学生会員	64	0	4	0
国外会員	0	9	0	5
賛助会員	97	0	96	0
団体会員	265	0	264	0
寄贈・交換	17	8	6	10
追加送本 <sup>※1</sup>	6	0	4	0
販売 <sup>※2</sup>	650	0	14	97
広告用	20	0	0	0
事務局保存用	30	0	14	0
計	1,891	19	620	113
総計	1,910		733	
印刷部数	2,150		785	
残部	240		52	

※1 賛助・団体会員に追加で送本しているもの(有料)

※2 和文誌を刊行している国際文献社, 英文誌を刊行しているTaylor &amp; Francis社がそれぞれ販売しているもの

## 「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第52巻 (2014年)	第53巻 (2015年)	第54巻 (2016年)	第55巻 (2017年)	第56巻 (2018年)
解説	323	351	358	412	392
	44	48	48	57	53
講座・セミナー室	177	137	197	103	116
	26	21	30	15	16
今日の話題	169	184	162	186	103
	62	66	60	69	39
バイオサイエンススコープ	0	55	44	47	20
	0	11	9	9	4
生物コーナー・化学の窓	63	19	10	0	11
	12	4	2	0	2
トップランナーに聞く	0	11	6	5	4
	0	2	1	1	1
海外だより・学界の動き	13	0	11	0	9
	3	0	2	0	2
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	26	62	33	38	32
	5	11	7	6	6
農芸化学 @High School	28	34	9	24	23
	10	12	3	8	7
特集号			67		97
			17		20
その他	30	31	35	26	29
印刷頁数(市販)	846	884	932	844	836
会告等	90	0	0	0	0
印刷頁数(会員配布)	936	884	932	844	836

「化学と生物」執筆者へ「化学と生物・クリアファイル」を配布している。

## 2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

## 英文誌投稿状況・掲載状況

月	2018年															2019年		
	前年末	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	162	181	171	180	159	158	153	143	145	148	162	174	181	174		175	170	
受理数		73	50	70		54	58	43	52	64	69	76	68	65	742	72	61	133
掲載数		26	22	22	21	23	16	26	22	28	21	21	23	20	291	23	23	46
返却数		28	38	39		32	47	27	28	33	34	43	38	52	439	48	43	91
issue		82-01	82-02	82-03	82-04	82-05	82-06	82-07	82-08	82-09	82-10	82-11	82-12	83-01		83-02	83-03	

## 英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数	IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外				
2014年	820	469	314	82	512	396	223	2134 (Vol. 78)	1045 (Vol. 78, No. 12)	1.063
2015年	783	419	318	74	461	351	227	2096 (Vol. 79)	960 (Vol. 79, No. 12)	1.176
2016年	734	392	336	80	447	332	178	2496 (Vol. 80)	895 (Vol. 80, No. 12)	1.295
2017年	694	360	299	58	412	309	162	2410 (Vol. 81)	810 (Vol. 81, No. 12)	1.225
2018年	742	422	291	58	439	334	174	2224 (Vol. 82)	735 (Vol. 82, No. 12)	
増減	48	62	-8	0	27	25	12	-186	-75	

\* 増減は2017年と2018年の比較

82巻4号に「Functional Food Science」、82巻6号に「Recent advances in isoprenoid studies」、の特集号を掲載し、一定期間Free Accessとして無料公開した。

3) 2018年度大会プログラム集は、2018年2月25日に11,000部を発行した。

4) 2018年度大会講演要旨集は2018年3月5日にPDF版を発行した。

- (2) 学術大会, 講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業
- 1) 2018年度学会賞等受賞者講演の開催  
2018年度日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の受賞者講演は2018年3月15日にホテルナゴヤキャッスル(愛知県名古屋市)において, 2018年度農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は3月16日に名城大学(愛知県名古屋市)において開催した。
- 2) 2018年度大会の開催  
2018年度大会は2018年3月16日から18日までの3日間, 名城大学(愛知県名古屋市)において以下の内容で開催され, 大会参加者数は4,887名であった。
- ・口頭発表による一般講演(1,878題)
  - ・シンポジウム(29テーマ・161題)の発表と討論
  - ・ランチョンセミナー(12社・12題)
  - ・JABEEランチョンシンポジウム「農学って, なあに? —農学教育の未来ビジョン—」
  - ・男女共同参画ランチョンシンポジウム「いろんな話を聞いてみよう, シャベってみよう」
  - ・BBBランチョンセミナー「[オープンサイエンス]~成果をもっと形に, そして業績に。」
  - ・ミキサー
  - ・企業展(31社)
  - ・展示会(93社・118小間)
  - ・託児ルーム
- 大会に先立ち, 2018年3月7日に東京(東京大学)において報道各社を招き記者会見を開催した。新聞, 出版各社16社21名に学会及び2018年度大会の広報資料を配布し, 学会長から学会の紹介, 大会実行委員長から大会の全体紹介, さらに広報担当理事からトピックス33演題の紹介, 解説を行った。
- 2018年度大会におけるトピックス賞として下記33題を顕彰した。
- 3B07p08 阿野泰久 キリン株式会社R&D本部健康技術研究所  
「ビール苦味成分イソ $\alpha$ 酸の海馬ドーパミンを介した記憶学習機能改善作用」
- 2B09p03 安永元樹 曾田香料株式会社  
「DAS<sup>TM</sup>(Drinking Aroma Simulator)とリアルタイム質量分析計を用いたレモン飲料のフレーバーリリース分析」
- 2A25p03 永久保利紀 筑波大学生命環境系  
「ヘモグロビンの新規フラボノイド変換活性の発見」
- 2A02a10 永尾寿浩 大阪産業技術研究所  
「ニキビ患者群に多いアクネ菌株に対して選択的抗菌活性を示す脂肪酸のスクリーニング」
- 2A12p13 加藤明宏 名古屋大学生命農学研究所  
「ラン藻*Synechococcus elongatus* PCC 7942を利用したMilking方式によるバイオ燃料生産の生産性向上」
- 3A14a11 河村達郎 理研CSRS・理研-マックスプランク連携  
「がん細胞に活性酸素種産生を誘導する化合物のスクリーニング」
- 3A09a08 河野祐介 筑波大学高細精医療イノベーション研究コア  
「システイン生産大腸菌によるエルゴチオネインの発酵生産」
- 3B07p01 熊木竣佑 東京農業大学応用生物科学部  
「新規霊長類消化管オルガノイド構築と機能解析」
- 2A07p02 原 精一 キッコマン株式会社研究開発推進部  
「形質転換麹菌でのエルゴチオネインとセレノネインの生産」
- 2A25a10 高橋征司 東北大学大学院工学研究科バイオ工学専攻  
「天然ゴム生合成機構におけるゴム粒子の重要性」
- 3A15a15 高瀬翔平 理化学研究所CSRSケミカルゲノミクス研究グループ  
「ゲノムワイドshRNAライブラリースクリーニングによるアポトーシス誘導物質JBIR-140の標的経路の解析」
- 2A24p17 黒柳美和 水産研究・教育機構瀬戸内海区研究所  
「海産養殖魚におけるTILLING法を用いた新品種の作出技術」
- 3A28a12 今井亮三 農研機構生物機能利用研究部門  
「コムギにおける*in planta*ゲノム編集技術の開発」
- 2A23p06 佐々木 崇 東京大学大学院農学生命科学研究科  
「胆汁酸受容体TGR5は骨格筋を肥大化し筋力の増大を誘導する」
- 3A13a01 佐藤聡子 ライオン株式会社 研究開発本部  
「新規*in vitro*運動モデルの確立及び $\beta$ -ヒドロキシ- $\beta$ -メチル酪酸(HMB)の作用メカニズム解析への応用」
- 3A18a09 坂井克行 北里大学大学院感染制御科  
「薬剤感受性出芽酵母を用いた抗真菌薬シード化合物の探索」
- 2A15a15 坂口嘉紀 京都大学大学院農学研究所  
「青ジソに含まれるアミロイド $\beta$ 42の凝集阻害物質の作用機構とマウスにおける生体内代謝」
- 3B04a06 山口翔平 信州大学学術研究院農学系  
「ゲニポシド酸の経口摂取は高血圧自然発症ラットにおいて心房性ナトリウム利尿ペプチドの分泌を促進する」
- 3B06p04 捨田利望実 東北大学大学院農学研究科  
「糖質制限食の長期摂取が老化に与える影響」
- 2B10p16 小川剛伸 京都大学大学院農学研究所  
「人工知能は食感を予測できるか? 一麺内部の3次元ミクロ構造からの食感の予測—」
- 3B07a06 小林洋大 森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所

- 「*Bifidobacterium breve* A1によるアルツハイマー病モデルマウスの認知障害に対する改善作用」
- 2A28a07 水野 翼 東京大学大学院農学生命科学研究科  
「常温固体型エチレン様活性物質による農業被害低減効果の追究」
- 2A17p20 菅井佳宣 東京大学大学院農学生命科学研究科  
「新規labionen構造の形成に関与するlanthipeptide合成酵素の解析」
- 3A07a08 西田郁久 島根大学生物資源科学部生命工学科  
「コエンザイム Q10の生合成に関わる新しい遺伝子の発見と機能解析」
- 3A27p08 川口雄正 長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科  
「イネ免疫反応を抑制する病原細菌由来のエフェクタータンパク質の同定とその機構解析」
- 3A20a01 大橋博之 大阪大学生物工学国際交流センター  
「バクテリア由来L-フコキナーゼ/GDP-L-フコースピロホスホリラーゼを用いたGDP-L-ガラクトースの高生産」
- 2A09a13 中山綾花 静岡県立大学食品栄養科学部  
「“超”高親和性型ペプチド輸送体発現酵母における香り成分生産性増強効果の解析」
- 3A06a08 田中 優 九州大学大学院農学研究院  
「日本人乳幼児の生後3年間の腸内フローラの形成・成熟化と胆汁酸代謝の関連性解析」
- 2B05a07 藤垣 泉 東京理科大学基礎工学部生物工学科  
「吉草酸-GPR109a経路はエイコサノイドの産生を介してマスト細胞依存性アレルギー炎症を抑制する」
- 2A22p13 萩原遙太 名古屋大学工学研究科  
「培養始原生殖細胞株の樹立とCRISPR/Cas9によるeGFPノックインニワトリの作製」
- 2A01a10 飯野隆夫 理研BRC-JCM  
「微生物腐食対策のための金属腐食性*Prolixibacter*属細菌検出系の構築」
- 2A20a07 尾形 慎 福島工業高等専門学校化学・バイオ工学科  
「新規糖鎖微粒子を用いたウマインフルエンザウイルスの高感度検出」
- 2A07a11 壺井雄一 花王株式会社生物科学研究所  
「人工DNA切断酵素TALENと一本鎖DNAを用いたRhizopus属糸状菌における高効率相同組換え技術の確立」
- 3) ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）の開催  
ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）は2018年度大会期間中の2018年3月17日に名城大学（愛知県名古屋市）においてポスター発表（79題・79校）が開催された。
- 4) 第25回農芸化学Frontiersシンポジウムの開催  
第25回農芸化学Frontiersシンポジウムは2018年3月18日～19日にホテル竹島（愛知県蒲郡市）において、講

演会・シンポジウムが開催され、91名の参加者があった。また、エクスカーションとして（株）アトリエパルファンによる香りに関する体験講座を開催した。

- 5) 第44回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催  
第44回農芸化学「化学と生物」シンポジウムは「スタチンとオートファジー 生命科学に革新をもたらした歴史的発見」というタイトルで、第1部が2018年3月15日にホテルナゴヤキャッスル（愛知県名古屋市）において、第2部が2018年3月17日に名城大学（愛知県名古屋市）において開催され、それぞれ約650名、1092名の参加者があった。

- 6) 学術活動強化委員会企画シンポジウムの開催 ※100周年記念事業

学術活動強化委員会企画シンポジウムは2018年3月16日に名城大学（愛知県名古屋市）において、日本土壤肥料学会との合同企画を「生物による無機元素の認識と反応の新展開」というタイトルで、日本ケミカルバイオロジー学会との合同企画を「ケミカルバイオロジー研究の最前線」というタイトルで、開催した。

- 7) サイエンスカフェの開催

2018年度サイエンスカフェは以下の通り全12回開催した。

\*1三省堂書店と共催、\*2日本学術会議農芸化学分科会と共催

1 [第113回] (広島)\*2 2018年6月2日「マッサンの故郷でお酒にまつわるサイエンスに触れよう」(竹鶴酒造株式会社) 講師：伊豆英恵氏、宮川都吉氏 コーディネータ：河本正次氏、水沼正樹氏、金井宗良氏 参加者：27名

2 [第114回] (名古屋) 2018年6月24日「動物の「うち」の研究から、わかること—野生動物の生存を助ける腸内細菌の世界—」(名古屋市科学館 生命館6F学習室) 講師：牛田一成氏 コーディネータ：小池田 聡氏 参加者：50

3 [第115回] (札幌)\*1 2018年8月4日「乳の発酵を考える」(三省堂書店札幌店BOOKS&CAFE (UCC)) 講師：福田健二氏 コーディネータ：田上貴祥氏 参加者：22名

4 [第116回] (松江)\*2 2018年9月29日「バッタの体色が変わるしくみ」(島根県民会館) 講師：塩方孝博氏 コーディネータ：古田賢次郎氏 参加者：22名

5 [第117回] (仙台)\*2 2018年10月20日「遺伝子/ゲノムの学び方」(東北大学青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ) 講師：大藤道衛氏、米山 裕氏 コーディネータ：藤井智幸氏 参加者：25名

6 [第118回] (藤沢)\*2 2018年10月27日「おいしさのサイエンスを体験しよう」(日本大学生物資源科学部 本館ガレリア階スエヒロ) 講師：若林素子氏 コーディネータ：熊谷日登美氏 参加者：22名

7 [第119回] (札幌)<sup>\*1</sup> 2018年11月9日「キノコと酵母の最新鑑定手法—質量分析」(三省堂書店札幌店 BOOKS&CAFE (UCC)) 講師：山口昭弘氏 コーディネータ：田上貴祥氏 参加者：16名

8 [第120回] (東京)<sup>\*1</sup> 2018年11月10日「原発事故から7年、福島農作物は大丈夫？」(三省堂書店神保町本店 2階 UCC カフェコンフォート) 講師：田野井慶太郎氏 コーディネータ：西川 拓氏 参加者：18名

9 [第121回] (弘前) 2018年11月17日「寄生虫になるのは進化？退化？」(集会所indriya) 講師：坂元君年氏 参加者：19名

10 [第122回] (福岡) 2019年1月11日「ためになる牛肉のサイエンス」(福岡市科学館) 講師：後藤貴文氏 コーディネータ：廣政恭明氏 参加者：24名

11 [第123回] (三重) 2019年2月5日「黒ヤギさんは、なぜお手紙を食べたか？」(津 伊勢門本店 (EBIIRO)) 講師：苅田修一氏 コーディネータ：勝崎裕隆氏 参加者：26名

12 [第124回] (福岡) 2019年2月6日「寒い時こそ気を付けよう！食中毒」(福岡市科学館) 講師：宮本敬久氏 コーディネータ：廣政恭明氏 参加者：14名

#### 8) 産学官学術交流委員会企画シンポジウムの開催

産学官学術交流委員会企画シンポジウムは2018年3月18日に名城大学(愛知県名古屋市中区)において、「これからの産学官連携のあるべき姿は？—産学官リーダーが語るオープンイノベーション—」というタイトルで開催され、184名の参加者があった。

#### 9) 産学官学術交流フォーラムの開催

産学官学術交流フォーラムは、2018年3月16日に名城大学(愛知県名古屋市中区)において以下の内容で開催され、約400名の参加者があった。

- ・第15回農芸化学研究企画賞研究企画発表会
- ・第14回農芸化学研究企画賞中間報告会
- ・第13回農芸化学研究企画賞最終報告会
- ・シンポジウム「企業トップが語る研究開発の未来予想図」
- ・技術交流会

#### 10) 産学官若手交流会(さんわか)セミナーの開催

産学官若手交流会(さんわか)セミナーは以下の通り全3回開催した。

1 [第31回] 難培養・極限環境微生物研究の最前線(2018年6月21日、京都大学理学部セミナーハウス、参加者約80名)

2 [第32回] 未来を拓くスマートバイオセンシング技術(2018年11月26日、東京大学中島董一郎記念ホール、参加者約45名)

3 [第33回] バイオ産業における産学官の現在と未来in沖縄(2019年2月21日、琉球大学50周年記念館、参加者34名)

11) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催  
創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして、Visionary 農芸化学100シンポジウムを下記のとおり3回開催した。

1 [Group D: 食品機能研究領域 第1回シンポジウム] 日本食の健康機能を支える食材の力(2018年9月23日、神戸大学百年記念館六甲ホール、参加者151名)

2 [Group A: 食・腸内細菌・健康研究領域 第2回シンポジウム] 腸内細菌と臓器—健康と疾病—(2018年11月18日、明治大学生田キャンパス中央校舎6階メディアホール、参加者163名)

3 [Group B: 微生物・バイオマス利用研究領域 第2回シンポジウム] 微生物と私たちの健康・暮らし・環境—世界に誇る日本の応用微生物学研究—(2018年12月15日、東北大学工学研究科中央棟大講義室、参加者295名(うち高校生171名))

#### 12) 各支部の講演会等の開催

2018年度の各支部の講演会等は下記のとおり開催された。

##### 北海道支部(3件)

- ・日本農芸化学会 東北・北海道支部 合同若手の会(仙台, 9月21~22日)
- ・日本農芸化学会 東北・北海道支部 合同支部大会(東北支部第153回大会)(東北大, 9月22~23日)
- ・2018年度北海道支部第2回支部講演会(北大, 12月15日~16日)

##### 東北支部(4件)

- ・支部シンポジウム「天然有機化合物が拓く新研究展開」(秋田大, 6月30日)
- ・2018年度支部「若手の会」(仙台, 9月21日)
- ・2018年度支部大会(東北大, 9月22日~23日)
- ・2018年度市民フォーラム「一農から工, 再エネにも関わるバイオ」(福島大, 11月10日)

##### 関東支部(7件)

- ・2018年度第1回支部例会 受賞講演(日大, 6月23日)
- ・バイオサイエンス・スクール2018(日大, 8月6日)
- ・2018年度第2回支部例会 トピックス賞受賞講演(東大, 9月8日)
- ・2018年度支部大会(東京理科大, 10月13日)
- ・2018年度第1回企業イベント~企業研究員&技術者からのメッセージ~(東大, 11月10日)
- ・2018年度第3回支部例会 受賞講演(東大, 12月15日)
- ・2018年度第2回企業イベント~企業研究員&技術者からのメッセージ~(東京家政大, 2月9日)

##### 中部支部(3件)

- ・第182回例会 受賞講演ならびにミニシンポジウム「糖質に関わるタンパク質・酵素の構造と機能—過去から未来へ—」(三重大, 6月9日)
- ・第183回例会 ミニシンポジウム「タンパク質の糖修飾

とその意義」および一般ポスター発表、企業展（名古屋大、9月15日）

- ・第184回例会 若手シンポジウム「化学と生物のマリアージュ：若手研究者による生化学研究の新機軸」（岐阜大、11月3日）

関西支部（9件）

- ・支部例会（第503回講演会）（京府大、5月19日）
- ・支部例会（第504回講演会）（阪府大、7月14日）
- ・日本農芸化学会関西支部大会（第505回講演会）（京都工芸繊維大学、9月14～15日）
- ・StudentCommette特別企画 ワークショップ「基礎研究と社会との架橋—日本の生命科学者の『たましい』の危機—」（京大、9月22日）
- ・第4回日本農芸化学会関西支部 産学官連携シンポジウム（不二製油株式会社、10月15日）
- ・JSBBA KANSAI 5th Student Forum（奈良先端大、11月10日）
- ・支部例会（第506回講演会）（神戸大、12月1日）
- ・賛助企業・学生交流企画「もっと知ろう賛助企業」（京大、2月2日）
- ・支部例会（第507回講演会）（京大、2月2日）

中四国支部（7件）

- ・第27回若手研究者シンポジウム・「農芸化学の未来開拓セミナー（第10回）」（岡山大、5月18日～19日）
- ・第28回若手研究者シンポジウム・「微生物酵素研究の最新事情」（徳島大、6月2日）
- ・第51回講演会（例会）（山口大、6月16日）
- ・第34回市民フォーラム「バイオテクノロジーってなあに？」（広島、7月22日、8月25日、9月8日、10月20日）
- ・2018年度支部大会（第52回講演会）・賛助企業交流企画（島根大、9月20日～21日）
- ・第35回市民フォーラム「からだを守るためのモノ作り—医・薬・農からのアプローチ—」（徳島、10月13日）
- ・第53回講演会（例会）（高知大、1月26日）

西日本支部（5件）

- ・第322回支部例会（福岡、5月18日）
- ・第55回化学関連支部合同九州大会（第323回支部例会）（北九州、6月30日）
- ・2018年度西日本支部大会（第324回講演会）（崇城大、9月21日～22日）
- ・第1回学生フォーラム（第325回講演会）（福岡市科学館、11月17日）
- ・第326回支部例会、支部奨励賞受賞講演、特別講演会（九大、1月26日）

### (3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業

- 1) 2018年度日本農芸化学会賞、日本農芸化学会功績賞、農芸化学技術賞、農芸化学奨励賞、農芸化学女性研究者

賞、農芸化学若手女性研究者賞、農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した。

【日本農芸化学会賞】（2件、50音順）

石野良純（九州大学大学院農学研究科）

「原核微生物の生命機能メカニズムに関する研究～バクテリアからアーキアへ～」

五味勝也（東北大学大学院農学研究科）

「麹菌における有用遺伝子の発現制御機構の解明とその応用研究」

【日本農芸化学会功績賞】（2件50音順）

井本正哉（慶應義塾大学理工学部）

「がん細胞の特性を標的とする阻害剤の化学生物学的研究」

裏出令子（京都大学大学院農学研究科）

「タンパク質の新機能性開発に関する多面的基盤研究」

【農芸化学技術賞】（3件、50音順）

蛸井 潔・糸賀 裕・岡田行夫・鯉江弘一朗（サッポロビール株式会社）

「ホップ品質の多角的な解析とその応用」

堀江健二・渡部和哉・山津敦史・坂下真耶（株式会社ファーマフーズ）「GABAの生産技術の確立と高機能食品の市場開発」

宇多川 隆・白崎裕嗣・森山外志夫・片口敏昭（福井県食品加工研究所・株式会社 室次・有限会社 もりやま・有限会社 片口屋）

「地域資源を活かした速醸新魚醤類の開発と商品化」

【農芸化学奨励賞】（10件、50音順）

伊原 誠（近畿大学農学部）

「イオンチャネル内蔵型受容体の高選択的リガンド認識と機能調節に関する生物有機化学研究」

小笠原泰志（北海道大学大学院工学研究院）

「ペプチドの構造に多様性を与える新規酵素の探索」

梶川昌孝（京都大学大学院生命科学研究科）

「藻類での有用脂質生産と脂質蓄積制御因子の同定」

勝山陽平（東京大学大学院農学生命科学研究科）

「放線菌のもつ多様な二次代謝産物生合成機構の解析」

加藤英介（北海道大学大学院農学研究科）

「食用植物の抗肥満、抗糖尿病効果を分子レベルで理解するための生物活性成分の探索と機能解析」

後藤 剛（京都大学大学院農学研究科）

「エネルギー代謝を制御する食品成分とその作用機構に関する研究」

辻村清也（筑波大学数理物質系）

「バイオエレクトロカタリシスの基礎と応用の新展開」

豊福雅典（筑波大学生命環境系）

「低分子化合物及び膜小胞を介した細菌間相互作用に関する研究」

原田直樹（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科）

「生体制御におけるアンドロゲンシグナリングと食の相

- 相互作用に関する研究」  
 若井 暁 (神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科)  
 「極限環境微生物のエネルギー変換に関する生化学および熱力学的解析」  
 【農芸化学女性研究者賞】(3件, 50音順)  
 大田ゆかり (国立研究開発法人海洋研究開発機構)  
 「海洋微生物からの有用機能の探索とその応用」  
 古園さおり (東京大学生物生産工学研究センター)  
 「細菌の環境応答と適応に関する分子生物学的研究」  
 齊藤安貴子 (大阪電気通信大学工学部)  
 「有機合成を基軸としたフラバン-3-オール誘導体の機能性解明研究と栽培現場への貢献を目指した研究展開」  
 【農芸化学若手女性研究者賞】(3件, 50音順)  
 梅川碧里 (京都大学大学院生命科学研究科)  
 「微生物を活用したN型糖鎖代謝酵素の機能解明とその応用」  
 戸田安香 (明治大学農学部)  
 「味覚受容体の新しい機能解析技術の開発と味覚受容の分子機構の解明」  
 山下陽子 (神戸大学大学院農学研究科)  
 「プロシアニジンの高血糖・肥満予防効果に関する研究」  
 【農芸化学女性企業研究者賞】(3件, 50音順)  
 石本容子 (第一三共株式会社)  
 「血管成熟化促進作用を持つ新規天然物 vestaine の同定」  
 堤 浩子 (月桂冠株式会社総合研究所)  
 「清酒副産物の機能性ペプチドに関する研究」  
 松井知子 (ノボザイムズジャパン株式会社研究開発部門)  
 「タンパク質工学を利用した産業用酵素の開発」  
 2) 第15回農芸化学研究企画賞は下記のとおり表彰した。  
 研究領域① 先導的生物活性物質研究と新技術開発 (1件)  
 高谷智英 (信州大学農学部)  
 「筋分化を誘導する乳酸菌オリゴDNAの生体内作用の実証」  
 研究領域③ グリーンバイオテクノロジー (1件)  
 春田 伸 (首都大学東京理工学研究科)  
 「セルロースナノファイバー生産のための温泉微生物生態系エンジニアリング」  
 3) 2017年度B.B.論文賞(12件)を下記のとおり表彰した。
- pp. 147~152 Naoki Yokotani, Misugi Uraji, Miyuki Hara, Seisuke Hihara, Tadashi Hatanaka & Kenji Oda  
 Low accumulation of chlorogenic acids represses reddening during flesh browning in Japanese peach "Okayama PEH7"
- pp. 249~255 Yasuhiro Ishimaru, Takaya Oikawa, Takeshi Suzuki, Syohei Takeishi, Hideyuki Matsuura, Kosaku Takahashi, Shin Hamamoto, Nobuyuki Uozumi, Takafumi Shimizu, Mitsunori Seo, Hiroyuki Ohta & Minoru Ueda  
 GTR1 is a jasmonic acid and jasmonoyl-L-isoleucine transporter in *Arabidopsis thaliana*
- pp. 1136~1147 Ayaka Ichikawa Nagasato, Hiroshi Yamashita, Michinori Matsuo, Kazumitsu Ueda & Noriyuki Kioka  
 The distribution of vinculin to lipid rafts plays an important role in sensing stiffness of extracellular matrix
- pp. 1176~1184 Zhongfeng Ye, Kazuya Nakagawa, Masahiro Natsume, Hideaki Nojiri, Hiroshi Kawaide & Kazunori Okada  
 Biochemical synthesis of uniformly <sup>13</sup>C-labeled diterpene hydrocarbons and their bioconversion to diterpenoid phytoalexins *in planta*
- pp. 1444~1451 Kohei Nishino, Misaki Kushima, Tomohiro Kaino, Yasuhiro Matsuo & Makoto Kawamukai  
 Urea enhances cell lysis of *Schizosaccharomyces pombe ura4* mutants
- pp. 1470~1477 Kumi Otori, Masahiro Tamoi, Noriaki Tanabe & Shigeru Shigeoka  
 Enhancements in sucrose biosynthesis capacity affect shoot branching in *Arabidopsis*
- pp. 1598~1606 Ryo Nakamura, Kumiko Nakano, Hiroyasu Tamura, Masaki Mizunuma, Tohru Fushiki & Dai Hirata  
 Evaluation of the comprehensive palatability of Japanese sake paired with dishes by multiple regression analysis based on subdomains
- pp. 1837~1844 Keita Fukui, Kei Nanatani, Yoshihiko Hara, Suguru Yamakami, Daiki Yahagi,
- pp. 102~111 Katsutoshi Nishino, Misao Shiro, Ryuki Okura, Kazuya Oizumi, Toru Fujita, Takahiro Sasamori, Norihiro Tokitoh, Akiyoshi Yamada, Chihiro Tanaka, Muneyoshi Yamaguchi, Syuntaro Hiradate & Nobuhiro Hirai  
 The (oxalato)aluminate complex as an antimicrobial substance protecting the "shiro" of *Tricholoma matsutake* from soil micro-organisms

- Akito Chinen, Mitsunori Tokura & Keietsu Abe  
*Escherichia coli yjjPB* genes encode a succinate transporter important for succinate production  
 pp. 2009~2017 Aina Gotoh, Misaki Nara, Yuta Sugiyama, Mikiyasu Sakanaka, Hiroyuki Yachi, Aya Kitakata, Akira Nakagawa, Hiromichi Minami, Shujiro Okuda, Toshihiko Katoh, Takane Katayama & Shin Kurihara  
 Use of Gifu Anaerobic Medium for culturing 32 dominant species of human gut microbes and its evaluation based on short-chain fatty acids fermentation profiles  
 pp. 2130~2138 Ayano Komine-Abe, Megumi Nagano-Shoji, Shosei Kubo, Hisashi Kawasaki, Minoru Yoshida, Makoto Nishiyama & Saori Kosono  
 Effect of lysine succinylation on the regulation of 2-oxoglutarate dehydrogenase inhibitor, OdhI, involved in glutamate production in *Corynebacterium glutamicum*  
 pp. 2168~2177 Masayuki Shibata, Motohiko Hirotsuka, Yukiko Mizutani, Haruya Takahashi, Teruo Kawada, Kentaro Matsumiya, Yukako Hayashi & Yasuki Matsumura  
 Isolation and characterization of key contributors to the "kokumi" taste in soybean seeds
- 4) Most-Cited Paper Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数20回).  
 Vol. 79, No. 1, pp. 130~137  
 Ha-Young Park, Yuri Kunitake, Naoto Hirasaki, Mitsuru Tanaka & Toshiro Matsui  
 Theaflavins enhance intestinal barrier of Caco-2 Cell monolayers through the expression of AMP-activated protein kinase-mediated Occludin, Claudin-1, and ZO-1
- 5) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した (1件, 被引用回数17回).  
 Vol. 80, No. 1, pp. 23~33  
 Makoto Kawamukai  
 Biosynthesis of coenzyme Q in eukaryotes
- 6) 2018年度, 支部における各賞を下記のとおり表彰した.  
 【日本農芸化学会北海道支部 奨励賞】1件  
 山下慎司 (帯畜大)  
 「機能性複合脂質に関する研究」  
 【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】2件  
 穴吹友亮 (北大院農)  
 「低分子生理活性化合物の新規な標的タンパク質同定法の開発」  
 永田龍次 (帯畜大)  
 「食品中難消化性成分が腸内細菌叢および生体に及ぼす影響」  
 【東北・北海道合同支部会 一般講演 学生会員 優秀発表賞 (口頭発表)】2件  
 池内健心 (北大院総化)  
 「多価不飽和脂肪酸合成酵素の機能改変」  
 Pelpolage Samanthi 氏 (帯畜大)  
 「Waste-to-table: In vivo colonic fermentation of Sugarcane bagasse oligosaccharides in rat」  
 【日本農芸化学会北海道支部 第2回学術講演会 学生優秀発表賞 (口頭発表)】3件  
 清水庸平 (北大院総化)  
 「メナキノン新規生合成経路阻害剤の探索」  
 藤田祐己 (北大院農)  
 「胆汁酸仮説の検証に向けたコール酸添加食摂取がラット盲腸内胆汁酸組成および細菌叢に与える影響の経時的解析」  
 瀬島祐大 (北大院農)  
 「大腸菌の NADH 脱水素酵素 I と シトクロム bo3 オキシダーゼ 両欠損株における異常な糖代謝の解析」  
 【日本農芸化学会東北支部 奨励賞】2件  
 石丸泰寛 (東北大学大学院理学研究科)  
 「植物の膜輸送体に関する研究」  
 小泉幸央 (秋田大学大学院医学系研究科)  
 「血栓溶解を賦活化させる微生物由来の環状ペプチドのケミカルバイオロジー研究」  
 【日本農芸化学会東北支部 若手奨励賞】3件  
 東海林由憲 (山形大学大学院理工学研究科)  
 「抗 HIV 活性を有する環状ペプチドの合成研究」  
 山本和史 (東北大学大学院農学研究科)  
 「油脂に着目した老化による消化管機能低下を遅延する方法の探索」  
 和氣駿之 (東北大学大学院工学研究科)  
 「フラボノイド生合成における多酵素複合体 (メタボロン) に関する研究」  
 【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞 (口頭発表部門)】5件  
 小林海渡<sup>1</sup>, 清水久佳<sup>1</sup>, 中島将博<sup>1</sup>, 中井博之<sup>2</sup>, 宮永顕正<sup>3</sup>, 田口速男<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>東理大院・理工, <sup>2</sup>新潟大・農, <sup>3</sup>東工大・理学)

- 「ソホロオリゴ糖と配糖体を基質とする新規糖転移酵素の機能と構造」  
齋藤穂高, 山内祥生, 佐藤隆一郎 (東大院・農生科・応生化)  
「内因性酸化ステロールがコレステロール代謝制御機構に及ぼす影響」  
恩田桃子<sup>1</sup>, 石渡明弘<sup>2</sup>, 袴田 航<sup>1</sup>, 平野貴子<sup>1</sup>, 伊藤幸成<sup>2</sup>, 遠矢幸伸<sup>3</sup>, 西尾俊幸<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>日大院・生資科, <sup>2</sup>理研・細胞制御化学, <sup>3</sup>日大生資科・獣医)  
「カルボリン誘導体の小胞体グルコシダーゼ II 阻害による抗ウイルス活性」  
Md. Abdulla Al Mamun<sup>1</sup>, Takuya Katayama<sup>1,2</sup>, Jun-ichi Maruyama<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>Dept. of Biotechnol., The Univ. of Tokyo, <sup>2</sup>CRIIM, The Univ. of Tokyo)  
「A novel gelsolin-like protein regulates growth and septum formation in filamentous fungi」  
野崎翔平<sup>1</sup>, 宮川拓也<sup>1</sup>, 徐 玉群<sup>1</sup>, 中村 顕<sup>1</sup>, 平林佳<sup>1</sup>, 浅見忠男<sup>1</sup>, 中野雄司<sup>2</sup>, 田之倉 優<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東大院・農生科・応生化, <sup>2</sup>理研CSRS)  
「植物特異的な BZR 転写因子ファミリーの DNA 結合特異性の構造基盤」  
【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞 (ポスター発表部門)】 5件  
古波津春希<sup>1</sup>, 加茂翔伍<sup>1,2</sup>, 友重秀介<sup>1</sup>, 倉持幸司<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東理大理工, <sup>2</sup>京府大院・生命環境)  
「フェナジノン天然物群の簡便合成法の開発」  
小野寺 瞳<sup>1</sup>, 新宮沙絵子<sup>1</sup>, 大沼万里子<sup>1</sup>, 堀江峻晃<sup>1</sup>, 紀平望帆<sup>2</sup>, 草野博彰<sup>3</sup>, 寺村 浩<sup>1</sup>, 島田浩章<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京理科大・生物工, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオサイエンス, <sup>3</sup>京都大・生存圏研)  
「翻訳エンハンサーと誘導型プロモーターによる植物用 TALEN system の高度化」  
川上瑞規<sup>1</sup>, 志村茉莉子<sup>2</sup>, 濱田奈保子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京海洋大院・食品流通安全管理, <sup>2</sup>ブルドックソース株式会社)  
「*Aspergillus oryzae* 001 を用いたアワビ内臓発酵物のアンジオテンシン変換酵素阻害物質の単離・精製および阻害様式の解明」  
保坂浩貴, 平野貴子, 袴田 航, 西尾俊幸 (日大院・生資科)  
「ヒト腸内細菌によるスクロースアナログ二糖の資化性調査」  
久保山文音, 佐々木 崇, 清水 誠, 佐藤隆一郎 (東大院・農生科・応生化)  
「胆汁酸受容体 TGR5 による骨格筋肥大効果の解明とその機能発揮に関わる新規遺伝子の探索」  
【日本農芸化学会中部支部 支部功労者表彰】 1件  
木曾 真 (日本農芸化学会有功会員)  
【日本農芸化学会中部支部 支部奨励賞】 12件  
竹内萌恵 (岐阜大院・自然科学)  
「エゴマおよびエゴマ発酵産物中成分によるコラーゲン産生促進メカニズムの解析」  
石川千尋 (名大院・生命農)  
「乳児腸管におけるラクトフェリンの分解吸収機構の解析」  
田中郁也 (三重大院・生物資源)  
「アミロイド b の凝集を阻害する b-ストランド配座固定ペプチドの設計と合成」  
室田健来 (静岡県立大院・薬食生命科学)  
「オルニチン由来アルカロイド生合成中間体の安定的微生物生産」  
武内大和 (福井県大院・生物資源)  
「エゴマおよびエゴマ発酵産物中成分によるコラーゲン産生促進メカニズムの解析」  
丸井萌子 (名城大院・農)  
「想起誘導モデルを用いた記憶障害のバイオマーカーの探索」  
筒井 優 (名大院・創薬科学)  
「分裂酵母における硫黄枯渇と細胞応答」  
宮澤雄希 (信大院・総合理工)  
「Pd 触媒による CO 挿入反応を用いた styryl lactone 類の合成研究」  
二永 貴 (富山県大院・工)  
「チューリップシド変換酵素の基質認識におけるアルコール部位の影響」  
佐々木允人 (静岡県立大院・薬食生命科学)  
「III 型ポリケタイド合成酵素の環化反応に関与するアミノ酸残基の探索」  
茅根千湖 (福井県大院・生物資源)  
「放線菌由来 1-aminocyclopropanecarboxylic acid synthase の機能解析」  
高田祐輔 (名大院・生命農)  
「植物時計の中心振動体 PRR に保存されたレシーバー様ドメインの機能解析」  
【日本農芸化学会関西支部 第503回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件  
田中秀典 (京府大院・生命環境)  
「新規ホスホリパーゼ A1 の成熟型とプロ型の性質比較—高効率なリン脂質の改変を目指して—」  
【日本農芸化学会関西支部 第504回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】 1件  
村井勇太 (阪府大院・生命環境)  
「青枯病菌においてクオラムセンシング制御下にある PKS-NRPS が産生するリポペプチド ralstonin 類の構造決定と生物活性」  
【日本農芸化学会関西支部 第506回講演会 優秀発表賞

- (支部長推薦)】1件  
宮本亜夜 (神戸大・農)  
「酸化ストレス応答に関わる 2-hexenal 受容体のスクリーニング」
- 【日本農芸化学会関西支部 第507回講演会 優秀発表賞 (支部長推薦)】1件  
日尾 守 (京大・農)  
「Sphingomonas属細菌 A1株の多糖を介した海藻への走化性と藻体からのバイオエタノール生産」
- 【日本農芸化学会関西支部 支部技術賞】1件  
月桂冠株式会社 (大浦 新, 堤 浩子, 入江元子, 大澤麻木)  
「酒粕の機能性に関する研究～甘酒, にごり酒への応用～」
- 【日本農芸化学会中四国支部 功労賞】3件  
合谷祥一, 永田信治, 福田恵温
- 【日本農芸化学会中四国支部 技術賞】1件  
渡邊 光, 谷口美文, 井上紳一郎, 石田有希 (株式会社 林原)  
「新しい水溶性食物繊維イソマルトデキストリン (ファイバリクサ) の開発」
- 【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞】2件  
戒能智宏 (島根大学生物資源科学部)  
「分裂酵母を用いたコエンザイム Q の合成と機能の解明」  
渡辺誠也 (愛媛大学大学院農学研究科)  
「機能未知タンパク質の新規アノテーション手法の開発と産業応用」
- 【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞 (学生部門)】40件  
東海彰太 (鳥取大学大学院連合農学研究科 (鳥取大学配属))  
大志田達也 (愛媛大学大学院連合農学研究科 (香川大学配属))  
Afroza Sultana (愛媛大学大学院連合農学研究科 (香川大学配属))  
荒井良仁 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科 工学専攻)  
井上 尚 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科 農学専攻)  
竹中航平 (島根大学大学院生物資源科学研究科)  
白石幸音 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)  
春名優希 (岡山大学資源植物科学研究所)  
新實祐理 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科)  
須賀朝子 (広島大学大学院生物圏科学研究科)  
見崎裕也 (広島大学大学院先端物質科学研究科)  
大西良弥 (県立広島大学大学院総合学術研究科)  
品田将史 (近畿大学大学院システム工学研究科)  
谷川綾音 (山口大学大学院創成科学研究科 農学系専攻)
- 出水聡之 (水産大学校水産学研究科)  
鈴木琢磨 (香川大学大学院農学研究科)  
宇都宮大貴 (愛媛大学大学院農学研究科)  
村川直美 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)  
大下紘貴 (高知大学大学院総合人間自然科学研究科)  
假谷佳祐 (鳥取大学農学部生物資源環境学科)  
梅田拓実 (鳥取大学農学部共同獣医学科)  
渡辺 舞 (米子工業高等専門学校物質工学科)  
稲村真一 (島根大学生物資源科学部生命工学科)  
造田みな美 (岡山大学農学部総合農業科学科)  
仲間政樹 (岡山大学薬学部)  
上山真依 (岡山県立大学保健福祉学部栄養学科)  
竹内赴登 (岡山理科大学理学部生物化学科)  
草加直幸 (岡山理科大学工学部)  
大林里奈 (くらしき作陽大学食文化学部栄養学科)  
上田中拓矢 (近畿大学工学部生物科学工学科)  
前田瑞生 (山口大学理学部生物・化学科)  
前田比呂 (山口大学工学部応用化学科)  
鎌谷美穂 (山口大学農学部生物機能学科)  
小林聡子 (水産大学校食品科学科)  
竹下莉子 (宇部工業高等専門学校物質工学科)  
田中寛大 (香川大学農学部)  
續木美紀 (愛媛大学農学部生物資源学科)  
西谷真美 (徳島大学工学部)  
新家大輔 (徳島文理大学人間生活学部)  
亀永康太 (高知大学農学部農学科)
- 【日本農芸化学会中四国支部 優秀発表賞】9件  
秋月一駿 (愛媛大学大学院連合農学研究科 (香川大学配属))  
「λフォスファターゼ共発現系を用いた非リン酸化/高活性型カゼインキナーゼ1の簡便な調製法の開発」  
安部庄剛 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)  
「柑橘類果皮ポリメトキシフラボンであるスタチチンとノビレチンは, 異なる細胞応答を誘導する」  
黒石川嵩幸 (愛媛大学大学院連合農学研究科 (香川大学配属))  
「*Penicillium* sp. KU-1株が生産するポリオール酸化酵素の固定化条件の検討と希少糖生産」  
須賀朝子 (広島大学大学院生物圏科学研究科)  
「深海性 *Shewanella* 属細菌由来シトクロム c のアミノ酸レベルでの安定化機構の解明」  
竹中航平 (島根大学大学院生物資源科学研究科)  
「*pka1* Δ の TBZ 感受性を抑圧する転写因子の解析」  
中村悠嗣 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)  
「油糧微生物ラビリンチュラにおける DHA 生産条件の検討」  
仁木大輔 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科 農学専攻)  
「*Cellulosimicrobium* sp. NTK2株が生産する Chitin-

binding protein のキチナーゼ活性への影響」

前 史織 (県立広島大学大学院総合学術研究科)

「3-アルキルアスコルビン酸の脱顆粒抑制活性」

松本侑也 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)

「抗腫瘍性酵素L-リシン  $\alpha$ -オキシダーゼ活性中心残基  
への変異導入による基質認識機構の解析」

【日本農芸化学会西日本支部 第323回講演会 優秀発表  
賞】10件

吉富 廉 (九大院・農)

「プロシアニジン C1 の抗メラノーマ作用とその作用  
機序」

白澤拓海 (九大院・農)

「ガン細胞アポトーシス誘導における有効Holin種の  
探索及びその抗腫瘍効果の検討」

和田夏美 (九大院・農)

「多成分バクテリオシントランスポーター EnkT の機  
能解析」

森 日香里 (九大院・農)

「分裂酵母のアルカリストレス応答と遺伝子発現機構  
の解析」

宮崎優里花 (九大院・農)

「ラットにおける米糠脂質抽出物投与による脳内ステ  
ロール状態の変化」

松本拓朗 (九産大院・工)

「食品関連酵母のMALDI-TOF-MSによる迅速同定」

高木伸太郎 (佐賀大院・理工)

「ホルミルペプチド受容体の第4膜貫通ドメインの合  
成と生物活性評価」

林田彩花 (九工院・生命体工)

「緑膿菌のクォラムセンシング阻害に関わるフルオ  
ロウラシルの微生物分解経路の解明」

木村太喜 (九大院・農)

「大腸菌を用いたレタス由来ガラクトキノール合成酵素  
遺伝子の機能解析」

木村有希 (九大院・農)

「卵白加水分解物摂食による脂肪肝の発症抑制機構」

【日本農芸化学会西日本支部 第324回講演会 優秀発表  
賞】10件

河原あい (熊本大院・環境共生)

「*Lactobacillus plantarum* PUK6 が生産する多成分バ  
クテリオシンの遺伝子解析」

福永嵩大 (九大院・農)

「分裂酵母細胞表面糖鎖のピルビン酸付加に関与する  
推定  $\beta$  1,3-ガラクトース転移酵素の機能解析」

千原由莉亜 (崇城大院・工)

「逐次反応系を用いた新規ガラクトフラノース転移酵  
素活性測定法の確立」

菊松風大 (九大院・農)

「黄麹菌 *Aspergillus oryzae* における Cdc48 オルソロ

グと物質生産性の解析」

北野 楽 (九大院・農)

「発達期低タンパク質栄養に惹起される次世代成熟期  
神経伝達物質代謝およびシグナル伝達の異常」

早田直樹 (佐賀大・農)

「水熱可溶化した孟宗竹ヘミセルロースの酵素糖化と  
腸内細菌増殖活性」

秋山京佑 (北九州高専・生産テ)

「T細胞系融合パートナーを用いた細胞融合によるヒ  
トモノクローナル抗体の効率的生産」

竹内智枝理 (九大院・農)

「緑茶カテキン EGCG 様抗体の産生を誘導する抗腫瘍  
DNA ワクチンの開発」

門岡千尋 (鹿児島大・農)

「白麹菌における推定RNA結合タンパク質NrdAの機  
能解析」

斐 宰焄 (九大院・農)

「緑茶と Diallyl disulfide の機能性フードペアリング」

【日本農芸化学会西日本支部 第325回講演会 優秀発表  
賞】7件

Liu Zhang (九大院・農)

「Involvement of salicylic acid to low-sulfur responses  
in *Arabidopsis thaliana*」

木村匠吾 (九大院・農)

「Isolation of novel species in gut microbiota by LDC  
method」

河野 唯 (九大院・農)

「The molecular mechanism underlying attenuation  
of insulin/IGF signaling cascade by L-serine  
deficiency」

堀野美里 (九大院・農)

「Signatures impaired in gut microbiome of Asians:  
Comparative metagenomic study of children in east  
and southern Asia」

Lin Shen (九大院・農)

「Identification and characterization of a novel  
exo-galactofuranosidase Rv3096, acting on the  
arabinogalactan of *Mycobacterium tuberculosis*」

渡部瑞季 (九大院・農)

「Effect of a unique organic liquid fertilizer on  
physicochemical properties, bacterial communities  
and their functions of paddy soil」

Alaa M R Allahham (九大院・農)

「Involvement of increased xylem transport of  
phosphate in the sulfur deficiency-induced phosphate  
accumulation in the shoots of *Arabidopsis thaliana*」

【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (学生の部)】2件  
後藤早希 (熊本県立大学大学院環境共生学研究所 環境  
共生学専攻)

「乳酸ユニットを高めた生分解性バイオポリマーの合成」

永田麻梨子（九州大学大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻）

「生命を維持する DNA 複製装置はどのように形成されてきたか～アーキア研究から迫る～」

【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（一般の部）】1件  
藤野泰寛（九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門）

「シリカ誘導性タンパク質の転写・発現機構とその応用開発」

#### (4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業

1) 農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞の助成 ※100周年記念事業

2018年度の農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞の各3件に助成した。

〔農芸化学女性研究者賞〕 3件 3,000,000円

〔農芸化学若手女性研究者賞〕 3件 1,500,000円

2) 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業（一部）

第15回農芸化学研究企画賞の2件に4,000,000円を助成した。

第15回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記18社より27口の御寄附をいただいた。

アサヒグループホールディングス（株）、味の素（株）、天野エンザイム（株）、（株）カネカ、キッコーマン（株）、協和発酵キリン（株）、キリン（株）、月桂冠（株）、サッポロホールディングス（株）、サントリーウエルネス（株）、第一三共（株）、日東薬品工業（株）、長谷川香料（株）、不二製油グループ本社（株）、（株）明治、森永乳業（株）、ヤマサ醤油（株）、ライオン（株）

3) 研究奨励金, 国際会議出席費補助金の助成

2018年度の研究奨励金, 国際会議出席費補助金として, 下記のとおり助成した。

〔第46回 研究奨励金〕 5件2,500,000円

占部大介（富山県立大学工学部）

「多価不飽和脂肪酸の直接酸化による生物活性脂質メデイエーターの集成的創出」500,000円

紙透伸治（麻布大学獣医学部）

「ピレノシン A の抗腫瘍効果の検証及び作用点の解明」500,000円

瀬戸義哉（明治大学農学部）

「根寄生植物による超高感度ストリゴラクトン認識メカニズムの解明」500,000円

武村政春（東京理科大学理理学部）

「汽水域・土壌における巨大ウイルスの生態と進化の包括的理解」500,000円

樋口裕次郎（九州大学大学院農学研究院）

「黄麹菌の固体培養における有用酵素高生産能の細胞生物学的解析」500,000円

〔第71回 国際会議出席費補助金〕 6件1,040,000円

【一般枠】4件740,000円

沖野龍文（北海道大学大学院地球環境科学研究院）

「第6回天然物と伝承薬からの創薬の発展に関する国際会議」(2018/11/15～11/17 インド, SAS ナガー) 200,000円

倉持幸司（東京理科大学理工学部）

「純正・応用化学に関する国際会議2018」(2018/10/30～11/2 マレーシア, ランカウイ) 160,000円

西山啓太（北里大学薬学部）

「第7回有用微生物学会」(2018/11/26～11/28 オランダ, アムステルダム) 180,000円

山口勇将（日本大学生物資源科学部）

「第19回国際食品科学工学会」(2018/10/22～10/27 インド, ムンバイ) 200,000円

【院生枠】2件300,000円 ※100周年記念事業

石津英里子（静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期課程2年）

「第14回アジア養蜂協会」(2018/10/22～10/25 インドネシア, ジャカルタ) 100,000円

細井友加里（岐阜大学大学院自然科学技術研究科・修士2年）

「第32回ヨーロッパ食品科学技術協会国際学会2018」(2018/11/6～11/8 フランス, ナント) 200,000円

4) 外国人等講演会の開催補助

2018年度は2件の申請があり, 下記のとおり採択, 補助を行った。

1 [No. 557]「Prof. Joel Goodman 博士 講演会」(2018/9/26, 京都大学 農学部総合館 第一セミナー室)《後援》参加者35名, 補助額32,340円

2 [No. 558]「Andrew Brown先生 (University of New South Wales) 講演会」(2018/9/28, 東京大学中島重一郎記念ホール)《協賛》参加者50名, 補助額44,370円

5) 国際シンポジウムの開催補助

2018年度は4件の申請があり, 下記のとおり採択, 補助を行った。

1 [No. 24]「The 10th International Conference on High Pressure Bioscience and Biotechnology (HPBB 2018)」(2018/9/18～22, 静岡県総合コンベンション施設 プラサ・ヴェルデ)《協賛》参加者108名, 補助額200,000円

2 [No. 25]「*Thermus thermophilus* 発見50周年記念シンポジウム」(2018/9/28～29, 熱川ハイッツ)《協賛》参加者70名, 補助額400,000円

3 [No. 26]「国際たまごシンポジウム in Kyoto 2018」(2018/10/16～17, メルパルク京都)《協賛》参加者255名, 補助額200,000円

4 [No. 27]「内外環境応答・代謝酵素研究会国際シンポジ

ウム 2019」(2019/12/2, 神戸国際会議場)《協賛》補助額 200,000円

6) 藪田講演会の開催補助

2018年度の申請はなかった。

7) 藪田セミナーの開催補助

2018年度の申請はなかった。

8) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助

2018年度は1件の申請があり, 下記のとおり採択, 補助を行った。

1 「酵母菌探索隊 ～自然界から野生の酵母を探そう!～」(2018年6月9日, 16日, 23日, 30日, 鈴鹿工業高等専門学校) 申請者: 今田一姫氏(鈴鹿工業高等専門学校教諭), 補助額200,000円

9) 中学校・高等学校への出前授業

2018年度は下記のとおり, 全7回開催した。

1 [第50回] 2018年3月9日(金) 目黒区立目黒中央中学校「おいしさの科学」

講師: 朝倉富子氏(東大院・農学生命科学研究科・味覚サイエンス(日清食品) 寄付講座 特任教授) 聴講者: 生徒158名

2 [第51回] 2018年9月13日(木) 福島県高等学校教育研究会理科部会「身近な動物の嗅覚～においやフェロモンを介した動物の行動制御～」講師: 宮崎雅雄氏(岩手大学農学部応用生物化学科 准教授) 聴講者: 高校理科教員 85名

3 [第52回] 2018年10月12日(金) 熊本県立宇士中学校・宇士高等学校「応用微生物学者は『もやしもん』に嫉妬している」講師: 酒井謙二氏(九州大学大学院農学研究科 生命機能科学部門システム生物工学講座 教授) 聴講者: 生徒25名

4 [第53回] 2018年10月12日(金) 岐阜県立大垣桜高等学校「健康と食品: 驚異の食品(食品が病気を防ぐ・食品が遺伝子に働きかける)」講師: 長岡 利氏(岐阜大学 応用生物科学部 教授) 聴講者: 生徒19名

5 [第54回] 2018年12月3日(月) 慶應義塾女子高等学校「農芸化学から見た健康長寿と食」講師: 小林彰子氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授) 聴講者: 生徒16名

6 [第55回] 2019年1月31日(木) 慶應義塾女子高等学校「農芸化学から見た健康長寿と食」講師: 小林彰子氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授) 聴講者: 生徒19名

7 [第56回] 2019年2月26日(火) トキワ松学園中学校高等学校「人の命を救うバクテリア, 放線菌」講師: 上田賢志氏(日本大学生物資源科学部 教授) 聴講者: 生徒15名

10) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助

北海道支部: 3件 補助総額30,000円

・講演会 The  $\alpha$ -amylase families in CAZy—a bioinformatician's view.

(2018年5月14日 北海道大学農学部S11教室) 10,000円

・講演会  $\omega$ 3系脂肪酸による認知症予防

(2018年10月11日 帯広畜産大学 総合研究棟2号館102番講義室) 10,000円

・講演会 シロアリ腸内原生物と共生する細菌のゲノム・系統解析に利用したメタゲノム・メタ16S解析の実例(2018年10月9日 北海道大学農学部 N11教室) 10,000円

東北支部: 1件 補助総額 100,000円

・「平成30年度大会(第67回)・応用糖質科学シンポジウム」(平成30年9月10日(月)～12日(水), 秋田県立大学生物資源科学部秋田キャンパス) 100,000円

関東支部: 3件 補助総額300,000円

・「第二回植物成長調節物質若手研究会」(2018年8月12日～13日, 八王子・大学セミナーハウス) 100,000円

・「第5回天然物化学研究会シンポジウム～天然物から学ぶ新技術・新機能～」(2018年10月19日, 東京農業大学世田谷キャンパス) 100,000円

・「第13回バイオミネラルセッションワークショップ」(2018年11月9日, 東京大学大気海洋研究所) 100,000円

中部支部: 2件 補助総額80,000円

・「第11回北陸合同バイオシンポジウム」(2018年10月26日～27日, 山中座, すまや今日楼) 50,000円

・「第20回静岡ライフサイエンスシンポジウム」(2019年3月2日, 静岡県立大学 草薙キャンパス 大講堂&学生ホール) 30,000円

関西支部: 4件 補助総額400,000円

・「第35回日本微量栄養素学会学術集会」(2018年6月9日, ANA クラウンプラザホテル京都) 100,000円

・「第15回日中韓酵素工学会議(酵素工学会研究会第79回講演会, 40周年記念シンポジウム合同)」(2018年6月30日～7月2日, 京大 百周年時計台記念館) 100,000円

・「酵母サルファーバイオロジ研究会」(2018年7月20日, 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域L12講義室) 100,000円

・「バイオベンチャー企業の新展開」(2018年9月16日, 京大 農学部総合館W314) 100,000円

11) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助  
北海道支部

東北・北海道 合同支部会 参加旅費補助

11名(そのうち新規入学生会員9名) 補助総額578,200円  
年次大会(東京) 参加旅費補助

21名(そのうち新規入学生会員9名) 補助総額756,000円

東北支部

2018年度東北・北海道支部若手の会参加費減額のため  
学生参加費補助5,000円・56名 補助総額280,000円

2018年度東北・北海道支部合同大会 学生発表者旅費補助のため

学生旅費補助5,000円・21名 補助総額209,620円

中四国支部

講演会参加補助金として、学生会員11名 補助総額208,622円

西日本支部

第1回学生フォーラム参加旅費補助 2名 35,280円

支部例会参加旅費補助 1名 8,520円

## 【その他の事業】

### (1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) ホームページ及びパンフレットによる本会の活動内容等の公開（日本語版・英語版）

日本語版の学会ホームページから誰でも検索可能できる農芸化学関連大学大学院の研究科一覧の更新手段の検討を開始した。

2) ニュースメール及びSNSの活用、本会の活動内容等の逐次発信

2018年はメールアドレス登録会員向けニュースメールを38回配信した。メールアドレス登録者は2019年2月現在約6,969名である。

支部の会員に限定し、支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部5回、関東支部23回、中部支部2回、関西支部16回、中四国支部24回。

ニュースメール、支部案内メールとは別に、講演会やセミナーの案内、各委員会からのお知らせ等のメール配信を1回配信した。

サイエンスカフェの開催情報をツイッター及びフェイスブックで発信した。

3) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2018年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 25件（国内17件、海外8件）

国内：

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| ・国会図書館                | ・農林水産省図書館   |
| ・科学技術振興機構             | ・工業所有権情報研修館 |
| ・国際医学情報センター           | ・日本化学会      |
| ・日本生化学会               | ・日本生物工学会    |
| ・日本地質学会               | ・日本薬学会      |
| ・繊維学会                 | ・日本香料協会     |
| ・バイオインダストリー協会         | ・有機化学合成協会   |
| ・山陽技術振興会              | ・科学新聞       |
| ・UBMメディア(株)「食品と開発」編集部 |             |

海外：

- ・中国農業化学会（台）
- ・The British Library（英）
- ・The Science Library Science Museum（英）
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences（中）
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences（中）
- ・Chemical Abstracts Service（米）

・USDA National Agricultural Library（米）

・Russian Academy of Sciences Library（露）

[英文誌の寄贈・交換] 16件（国内6件、海外10件）

国内：

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・日仏工業技術会
- ・日本化学会
- ・日本薬学会

海外：

- ・The British Library（英）
- ・China National Chemical Information Center（中）
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences（中）
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division（米）
- ・The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences（露）
- ・Russian Academy of Sciences Library（露）
- ・The Library Publications & Information Directorate（印）
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry（チェコ）
- ・Agricultural Science in Finland（フィンランド）
- ・I.N.R.A.C.R.de Jouy-en-Josas Domainede VilvertUnite Centrale de Documentation（仏）

4) フェロー制度を活用、本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えとともに、本会の更なる発展へ向けての活動を囑する。

2018年度にフェロー5名を承認し、2019年2月現在、100名となった。

[2018年度承認5名]

植田和光、内海俊彦、内海龍太郎、加納健司、神崎 浩

[2014～2017年度承認95名]

麻田恭彦、浅野泰久、安達修二、阿部啓子、安部康久、池田郁男、伊藤幸成、稲垣賢二、井上國世、生方 信、裏出令子、江坂宗春、遠藤銀朗、大澤俊彦、大島敏久、大東 肇、長田裕之、小鹿 一、尾添嘉久、小田耕平、加藤陽治、上村一雄、河合富佐子、河岸洋和、川端 潤、木曾 真、北畠直文、北本勝ひこ、木村 誠、工藤俊章、久原 哲、熊谷日登美、河野憲二、後藤俊男、小林哲夫、駒井三千夫、五味勝也、小山泰二、齋藤忠夫、澤 嘉弘、沢村正義、重岡 成、清水金忠、新免芳史、水光正仁、須貝 威、菅沼俊彦、關谷次郎、園元謙二、平 秀晴、田中啓司、田之倉 優、土屋英子、寺尾純二、徳田 元、戸坂 修、中野長久、中村保典、西田律夫、早川 茂、林 英雄、原 博、深見治一、福田恵温、福田雅夫、伏木 亨、藤田泰太郎、古川謙介、前島正義、牧 正敏、正木春彦、松井博和、松尾憲忠、松下一信、松田 譲、松本正吾、宮川都吉、宮澤陽夫、三輪清志、三輪 操、村田幸作、森 信寛、柳田晃良、山田耕路、山田 守、山根久和、山本憲二、山本万里、横井川久己男、横関健三、

横田明穂, 横田孝雄, 吉澤結子, 吉田 稔, 依田幸司

5) 農芸化学領域における重点領域分野を検討し, 積極的に推進した.

## (2) 関連学協会, 産業界, 官界等との連携・協力の推進事業

1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した.

2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した.

2018年度に開催したサイエンスカフェのうち, 第113回「マッサンの故郷でお酒にまつわるサイエンスに触れよう」, 第116回「バッタの体色が変わるしくみ」, 第117回「遺伝子/ゲノムの学び方」, 第118回「おいしさのサイエンスを体験しよう」, 第120回「原発事故から7年, 福島農作物は大丈夫?」, を日本学術会議農芸化学分科会との共催とし, 分科会メンバーが挨拶を行った.

3) 日本農学会に評議員, 運営委員として会員を派遣し, 活動した.

2018年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し, 日本農学会評議員会に会長, 副会長が出席した. また2019年度日本農学賞に本会から1件を推薦した.

4) 農学会の農学教育推進委員会に委員として会員を派遣し, 活動した.

農学会の農学教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会にJABEE対応委員長が出席した.

また, 第17回日本農学進歩賞に本会から2件を推薦した.

5) 日本技術者教育認定機構(JABEE)農芸化学系, 生物工学系の認定審査に審査長・審査員・オブザーバー等として会員を派遣し, 活動した.

2018年度には農学一般関連分野で2件の継続審査(実地審査)があり審査長1名・審査員1名・オブザーバー1名を派遣した. 生物工学および生物工学関連分野では3プログラムの新規認定審査があった.

6) JABEE農学系分野審査講習会へ, 本会会員の参加を促した.

JABEE農学系分野審査講習会にJABEE対応委員長が出席した.

7) 化学情報協会の正会員として, 活動した.

8) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した.

9) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し, 活動した.

日本光生物学協会委員会に本会会員1名が出席した.

10) 日本微生物学連盟に会員, 理事として参加し, 活動した.

日本微生物学連盟理事会に本会代表として庶務理事が出席した.

11) 日本昆虫科学連合に会員として参加し, 活動した.

日本昆虫科学連合総会・シンポジウムに本会会員2名が

出席した.

12) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し, 活動した.

・男女共同参画学協会連絡会運営委員会に男女共同参画担当理事及び委員が出席した.

・加盟学会の2018年度活動調査について本会の結果を報告した.

・男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに男女共同参画理事及び委員が参加し, 本会の活動報告をポスター発表にて委員が行った. また, 個別テーマセッションの講演記録係を理事が務めた.

・女子中高生夏の学校2018に男女共同参画委員1名が参加し, 本会の活動を紹介するポスター発表を行った.

13) 生物科学学会連合に会員として参加, 活動した.

生物科学学会連合定例会議に本会代表として庶務理事が出席した.

14) 国内学術集会の共催・協賛・後援

### 【2018年】(62件)

・平成30年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業(岩手)《後援》(4月1日~3月31日)

・第8回ポルフィリン-ALA学会年会(東農大)《協賛》(4月14日~15日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「接ぎ木で産業革命を興す!」(東京)《協賛》(6月5日)

・日本ゾルゲル学会第15回セミナー(早稲田大)《協賛》(6月8日)

・第86回醤油研究発表会(東京大会)(東農大)《後援》(6月8日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「筋肉修復に向けた先進医療の可能性」(東京)《協賛》(6月11日)

・新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第3回公開シンポジウム(東大)《協賛》(6月27日~28日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「東京五輪への課題シリーズ:魅力的で安全・安心な食の提供に向けて」(東京)《協賛》(6月29日)

・第40回高分子と水・分離に関する研究会講座(東工大)《協賛》(6月29日)

・セルロース学会第25回年次大会(京大)《協賛》(7月5日~6日)

・第30回万有札幌シンポジウム(北大)《協賛》(7月7日)

・日本包装学会 第27回年次大会 研究発表会(東大)《協賛》(7月12日~13日)

・第25回旬の技術・見学講演会(埼玉)《協賛》(7月13日)

・日本学術振興会 先導的研究開発委員会「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」公開シンポジウム(東大)《協賛》(7月20日)

・第59回機器分析講習会 第2コース(慶応大)《協賛》(7月25日~27日)

- ・ 極限環境生物学会シンポジウム・日本 Archaea 研究会講演会合同大会 (神戸大)《協賛》(8月3日~4日)
- ・ 日本ゾルゲル学会第16回討論会 (関西大)《協賛》(8月6日~7日)
- ・ 東京大学 微生物科学イノベーション連携研究機構 発足記念シンポジウム「微生物科学の新たな学知創出をめざして」(東大)《協賛》(8月21日)
- ・ 第2回オレオマテリアル学術交流会 (静岡)《協賛》(8月27日~28日)
- ・ 第31回におい・かおり環境学会 (千葉工業大)《協賛》(8月30日~31日)
- ・ 生物工学フォーラム「未来型健康社会創製に向けたオミックス利用の最前線」(東大)《協賛》(8月31日)
- ・ 第27回日本バイオイメージング学会学術集会「公開講座」並びに「学術講演会」(産総研)《協賛》(9月2日~4日)
- ・ 2018年度 日本冷凍空調学会年次大会 (福島)《協賛》(9月4日~7日)
- ・ JASIS2018 (幕張)《後援》(9月5日~7日)
- ・ 理研シンポジウム「次世代タンパク食を考える」(和光)《後援》(9月7日)
- ・ 第69回コロイドおよび界面化学討論会 (筑波大)《後援》(9月18日~20日)
- ・ 未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西 (大阪)《後援》(9月26日)
- ・ 第16回高付加価値食品開発のためのフォーラム (静岡)《協賛》(9月28日~29日)
- ・ 大豆のはたらき in 札幌—おいしさと健康を通して (札幌)《後援》(9月29日)
- ・ 日本清涼飲料研究会第28回総会・研究発表会 (東京)《後援》(10月12日)
- ・ 日本高圧力学会 未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ (43)「高圧力科学技術の未来を拓く新発見・新技術」(東京)《協賛》(10月12日)
- ・ 生物発光化学発光研究会第34回学術講演会 (九州大)《協賛》(10月13日)
- ・ 第62回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 (TEAC2018) (長崎大)《共催》(10月13日~15日)
- ・ 第63回プラスチックフィルム研究会講座~ヘルスケア、センサー用フィルム材料 (東工大)《協賛》(10月19日)
- ・ 18-2 エコマテリアル研究会「生物がつくる多様なバイオポリマー」(群馬大)《協賛》(10月19日)
- ・ 原子力総合シンポジウム 2018 (東京)《協賛》(10月22日)
- ・ 第54回X線分析討論会 (東京理科大)《協賛》(10月25日~26日)
- ・ “未来へのバイオ技術”勉強会「結晶が変える未来社会」(東京)《協賛》(10月26日)
- ・ 第35回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム 2018 (東京)《協賛》(10月29日~11月1日)
- ・ “未来へのバイオ技術”勉強会「東京五輪への課題シリーズ2: おもてなしを支える日本の食と酒」(東京)《協賛》(10月30日)
- ・ 第24回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 (福島)《後援》(10月30日~11月1日)
- ・ 日本油化学会界面科学部会秋季セミナー (神奈川)《協賛》(11月5日~6日)
- ・ 第114回有機合成シンポジウム (早稲田大)《協賛》(11月6日~7日)
- ・ 日本希土類学会第36回講演会 (大阪大)《協賛》(11月7日)
- ・ 第35回医用高分子研究会講座~がん治療と医用高分子~(東京理科大)《協賛》(11月8日)
- ・ 第6回日本分析化学会受託分析研究懇談会セミナー (東京)《協賛》(11月8日)
- ・ 第17回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎: 食感・風味の制御に向けて— (東大)《協賛》(11月8日~9日)
- ・ 2018年度日本乳酸菌学会秋期セミナー (京大)《協賛》(11月16日)
- ・ 第23回静岡健康・長寿学術フォーラム (静岡)《後援》(11月16日~17日)
- ・ アグロ・イノベーション 2018 (東京)《協賛》(11月20日~22日)
- ・ 平成30年度 後期 (秋季) 有機合成化学講習会 (東京)《協賛》(11月21日~22日)
- ・ 第18回基準油脂分析試験法セミナー (東京)《協賛》(11月21日~22日)
- ・ 第16回日本糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム (東大)《後援》(11月26日~27日)
- ・ 第59回高圧討論会 (岡山理科大)《協賛》(11月26日~28日)
- ・ 平成26~30年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「人為由来環境変化に対する生物の適応戦略と小進化」研究総括シンポジウム (東洋大)《後援》(11月30日)
- ・ 第46回構造活性相関シンポジウム (大阪大)《協賛》(12月5日~6日)
- ・ 第45回炭素材料学会年会 (名古屋工業大)《協賛》(12月5日~7日)
- ・ 第45回有機典型元素化学討論会 (新潟)《協賛》(12月13日~15日)
- ・ 新学術領域研究「生合成リデザイン」第5回シンポジウム (千葉大)《協賛》(12月15日~16日)
- ・ 理研シンポジウム第19回 分析・解析技術と化学の最先端 (和光)《協賛》(12月18日)
- ・ 革新的環境技術シンポジウム 2018 ~長期低排出発展戦略の実現に向けたイノベーションの推進~ (東大)《後

- 援》(12月19日)
- ・公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料問題フォーラム2018」(東京)《後援》(12月21日)
- [2019年] (34件)**
- ・第30回高分子ゲル研究討論会(東工大)《協賛》(1月16日~17日)
  - ・理研シンポジウム「細胞内糖修飾の統合的ケミカルバイオロジー」(和光)《協賛》(1月25日)
  - ・第24回高専シンポジウム in Oyama (小山工業高専)《協賛》(1月26日)
  - ・日本栄養・食糧学会関東支部第21回健康栄養シンポジウム「血管を守る生活習慣」(東京)《後援》(1月26日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「核酸医薬開発の動向と課題」(東京)《後援》(1月30日)
  - ・バイオエンジニアリング研究会 公開講演会「バイオ×デジタル (AI・IoT)~バイオ産業におけるデジタルトランスフォーメーション~」(早稲田大)《後援》(2月1日)
  - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「口腔ケア革命」(東京)《後援》(2月19日)
  - ・第七回 低温・氷温研究会(鳥取)《後援》(3月2日)
  - ・日本学術会議公開シンポジウム「サステナブルな社会に向けた科学技術と自然界での炭素・水素・酸素・窒素の循環の調和」(東京)《後援》(4月12日)
  - ・第35回希土類討論会(大阪大)《協賛》(5月15日~16日)
  - ・第17回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム(金沢)《協賛》(5月18日~19日)
  - ・食品ハイドロコロイドセミナー2019, 第30回食品ハイドロコロイドシンポジウム(海洋大)《後援》(5月23日~24日)
  - ・第6回SBJシンポジウム(大阪)《後援》(5月24日)
  - ・第29回万有福岡シンポジウム—有機分子・有機合成反応を育む—(九州大)《後援》(5月25日)
  - ・新学術領域研究「生合成リデザイン」第六回公開シンポジウム(北大)《後援》(5月25日~26日)
  - ・日本ゾル-ゲル学会第16回セミナー(京都)《後援》(5月31日)
  - ・第115回有機合成シンポジウム(東北大)《協賛》(6月3日~4日)
  - ・新規素材探索研究会第18回セミナー(横浜)《後援》(6月7日)
  - ・日本ケミカルバイオロジー学会第14回年会(名古屋)《後援》(6月10日~12日)
  - ・シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2019」(金沢)《協賛》(6月14日~15日)
  - ・新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第5回公開シンポジウム(大阪大)《後援》(6月25日~26日)
  - ・第30回記念万有仙台シンポジウム(仙台)《後援》(6月29日)
  - ・第56回アイソトープ・放射線研究発表会(東大)《後援》(7月3日~5日)
  - ・第54回天然物化学談話会(札幌)《後援》(7月3日~5日)
  - ・第9回高校生バイオサミット in 鶴岡(慶應大)《後援》(7月29日~31日)
  - ・日本ゾル-ゲル学会第17回討論会(東京理科大)《後援》(8月5日~6日)
  - ・第38回日本糖質学会年会(名古屋大)《協賛》(8月19日~21日)
  - ・ $\beta$ -グルカン協議会設立10周年記念講演会(東大)《後援》(8月27日)
  - ・第33回日本キチン・キトサン学会大会(日大)《後援》(8月28日~29日)
  - ・第21回生体触媒化学シンポジウム(金沢工大)《後援》(8月29日~30日)
  - ・第61回天然有機化合物討論会(広島)《後援》(9月11日~13日)
  - ・第63回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(第63回 TEAC 討論会)(秋田大)《協賛》(9月28日~30日)
  - ・第67回レオロジー討論会(滋賀県立大)《後援》(10月16日~18日)
  - ・第56回ペプチド討論会(東京医歯大)《後援》(10月23日~25日)
- 15) 和食文化国民会議に会員として参加した。
- 16) その他外部団体との連携
- ・日本学術振興会 第9回育志賞に本会から1件を推薦した。
  - ・平成31年度文部科学大臣表彰科学技術賞の開発部門に本会から2件を、若手科学者賞に1件を推薦した。
  - ・第40回沖縄研究奨励賞に本会から1件を推薦した。
  - ・2018年度飯島藤十郎食品科学賞に本会から1件を推薦した。
  - ・第59回東レ科学技術研究助成に本会から2件を推薦した。
  - ・第60回藤原賞に本会から1件を推薦した。
  - ・山田科学振興財団の2019年度研究援助に本会から3件を推薦した。
  - ・内藤記念科学振興財団へ2019年度選考委員3名を推薦した。
- (3) 関連する国際協力の推進事業**
- 1) 国際学術集会の共催・協賛・後援
- [2018年] (7件)**
- ・第5回SBJシンポジウム—センシング技術の生物工学的展開—(筑波大)《後援》(5月25日)
  - ・第15回日中韓酵素工学会議(京大)《後援》(6月30日~7月2日)
  - ・プロテイン・アイランド・松山(愛媛大)《後援》(9月

11日～12日)

- ・ The 10th International Conference on High Pressure Bioscience and Biotechnology, HPBB2018 (静岡)《協賛》(9月18日～22日)
- ・ The 6th International Symposium on Transformative Bio-Molecules (ISTbM-6), The 14th Hirata Award および The 4th Tsuneko & Reiji Okazaki Award (名古屋大)《協賛》(10月4日～5日)
- ・ 国際たまごシンポジウム in KYOTO 2018 (京都)《後援》(10月16日～17日)
- ・ 第10回国際ペプチドシンポジウム (10th IPS)/第55回ペプチド討論会 (京都)《協賛》(12月3日～7日)

#### 【2019年】(12件)

- ・ 新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第1回国際シンポジウム (第4回公開シンポジウム) The 1st International Symposium on the Chemical Communication (ISCC2019) (一橋大)《協賛》(1月9日～10日)
- ・ 第24回名古屋メダルセミナー (名古屋大)《協賛》(2月28日)
- ・ 2019 International Garlic Symposium (広島)《後援》(5月28日～30日)
- ・ 第18回新芳香族化学国際会議 (ISNA-18) (北大)《後援》(7月21日～26日)
- ・ 4th International Symposium on Process Chemistry (京都)《協賛》(7月24日～26日)
- ・ 第6回国際亜鉛生物学会学術集会 (ISZB-2019) (京都)《協賛》(9月9日～13日)
- ・ 第4回D-アミノ酸国際学会 (東京)《協賛》(9月10日～13日)
- ・ Asian Mycological Congress 2019 (三重)《後援》(10月1日～4日)
- ・ 第23回国際生物湿式冶金学シンポジウム (福岡)《後援》(10月20日～23日)
- ・ コロイドおよび界面化学討論会第70回記念国際会議「Okinawa Colloids 2019」(沖縄)《後援》(11月3日～8日)
- ・ 第9回ポリフェノールと健康国際会議 (ICPH2019) (神戸)《後援》(11月28日～12月1日)
- ・ 第7回国際フードファクター会議 (ICoFF2019)/第12回国際機能性食品学会 (ISNFF2019) (神戸)《後援》(12月1日～5日)

2) 国際栄養学会と連携した。

#### (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。
- 2) 国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員候補者1名を推薦し、協力した。

#### 【総会, 理事会, 委員会の開催】

2018年度(2018年3月1日から2019年2月28日)は下記のとおりに開催した。

・ 総会

第62回(2018年度)定時総会を2018年5月31日、東京大学中島董一郎ホール(東京都文京区)において開催し、次の議案を可決した。

第1号議案 計算書類等の承認の件

・ 理事会(6回)

5月17日: ①2017年度事業報告書承認, ②退職手当支給割合変更, ③2017年度計算書類承認の件及び監査報告, ④通常総会開催の件, ⑤答申書の修正

5月31日: ①入会員の承認, ②役員候補者等選考委員会委員の承認, ③授賞選考委員会からの申し入れ事項, ④和文誌特集号の印刷製本費の支払い額, ⑤Visionary 農芸化学100微生物Gr追加開催, ⑥支部活動における追加予算の承認, ⑦各種規程・規則の変更案, ⑧外部団体の理事の選出, ⑨監査人, 大会運営委託業者との業務委託契約(更新)

7月26日: ①入会員の承認, ②平成30年7月豪雨に伴う特別措置, ③女性企業研究者賞の応募条件の変更等, ④支部活動における追加予算の承認, ⑤各種規程の変更案, ⑥次期委員長の指名

10月25日: ①入会員の承認, ②名誉会員及び有功会員候補者の承認, ③フェロー候補者の承認, ④会員種別の追加について(会員及び会費規程の変更), ⑤予算作成の方針, ⑥和文誌冊子体購読料の価格変更, ⑦テレビ会議システム及びペーパーレス化の導入, ⑧各種規程の変更案

12月14日: ①入会員の承認, ②名誉会員の承認, ③授賞選考における利害関係者の行動指針, ④各種授賞の承認, ⑤フェローの認定取消, ⑥会員種別の追加について(定款変更, 会員及び会費規程の変更), ⑦和文誌冊子体購読料の価格変更の開始時期, ⑧英文誌編集委員長の承認, ⑨共催・協賛・後援に関する規程の新設, ⑩来年度事業計画(第一次案)

2019年2月15日: ①2020年度大会(福岡)の状況, ②入会員の承認, ③組織の変更, 委員会委員長の選出, ④各種規程の変更案, 新設, ⑤各種表彰の承認, ⑥各種助成金の承認, ⑦授賞選考委員会委員の改選, ⑧2021年度(仙台)及び2022年度(京都)大会実行委員長の選出, ⑨シンポジウム等の講演要旨集のPDF化, ⑩2019年度事業計画(最終案), ⑪2019年度収支予算(最終案), ⑫英文誌の交換の取り止め, ⑬事務局人事・初任給について

・ 授賞選考委員会(2回)

11月7日: ①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

11月30日: ①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞・藤原賞本会推薦候補者の選考

・ 学術活動強化委員会(1回)

3月17日：①Visionary 農芸化学100について、②研究奨励金の選考方法について、③他学会との連携について、④農芸化学「化学と生物」シンポジウムについて

・学術活動強化委員会総務会（1回）

9月23日：①2019年度他学会との連携について、②100周年記念事業における記念出版事業漫画作成のためのテーマの検討、③日本学術会議大型マスタープラン2020について

・和文誌編集委員会（2回）

5月30日：①推薦課題の可否、②Visionary 農芸化学100シンポジウムとの連携企画

11月1日：①推薦課題の可否、②次期和文誌編集委員について、③農芸化学@High School およびトップランナーに聞く担当者交代

・英文誌編集委員会（1回）

3月16日：①投稿規程の変更について、②表紙の変更について

・英文誌編集総務会（2回）

7月23日：①T&Fとの契約更新について、②Similarity Checkの結果に関する判断基準、③投稿規程の整備、④来年の大会時のランチョン等の企画、⑤BBB Vol. 83 (2019)の特集号について、⑥不正論文の撤回について、⑦BBB ScholaroneManuscripts (SIM)の容量アップについて

1月11日：①2018年BBB論文賞の選考、②2018年Most-Cited Paper Award および Most-Cited Review Awardの選考、③次期編集委員候補者の選考、④BBB Vol.84の特集号について、⑤経費削減、収入増のアイデア

・産学官学術交流委員会（2回）

9月28日：①第13回農芸化学研究企画賞報告書の和文誌推薦、②産学官若手交流会（さんわか）の活動計画と2019年度予算、③農林水産省「知」の集積と活用場 産学官連携協議会について

12月18日：①第16回農芸化学研究企画賞の選考、②第1回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の選考、③産学官学術交流フォーラムについて、④産学官若手交流会（さんわか）の活動計画と2019年度予算

・広報委員会（3回）

3月17日：①広報委員長の交代について、②学校教育における農芸化学の普及活動補助の選考、③研究室検索サイトについて、④学会HP英語版の充実化について

7月17日：①農芸化学関連 全国大学・大学院研究科・専攻一覧の改組等による情報更新について、②農芸化学が学べる研究室検索サイトについて、③学会HP英語版の充実化について

11月26日：①2019年度活動計画案・予算案、②2019年度活動計画案・予算案、③学会HP英語版の充実化について（Visionary等）

・財務委員会（5回）

5月21日：①前回意見交換会の結果の再確認、②女性企業

研究者賞の応募条件の変更と副賞設定、③奨励賞の授賞件数の変更、④男女共同参画学協会連絡会の幹事会の引き受けの再検討、⑤和文誌特集号（56巻3号）制作費の支払い、⑥予算の追加等、⑦企業研究者活動表彰の要領（報告）、⑧ジュニア農芸化学会の在り方、⑨フェロー規程の変更、⑩第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2020）の策定方針に関するアンケート調査、⑪会議費運用細則の変更（アルコール代を別に明記する、内閣府の指導）、⑫支部会計マニュアルの改訂、⑬インターネット関連、⑭事務局業務リスト・人事

7月18日：①男女共同参画学協会連絡会の幹事会の引き受けの再検討（つづき）、②女性企業研究者賞の応募条件の変更（つづき）、③企業研究者活動表彰の公募開始（報告）、④委員及び幹事規程の変更案、⑤次期和文誌編集委員長の指名、⑥ジュニア農芸化学会アンケート集計結果（報告）、⑦大会発表に関するアンケート集計結果（報告）、⑧財務分析会議進捗状況（報告）、⑨事務局関連

10月18日：①遠隔会議システムの導入、②新規事業申請件数報告、③会費減免措置の文案、④財務分析結果及び提案、⑤2019年度大会関係、⑥2020年度大会関係、⑦日本農学賞の推薦対象者、⑧学会賞等の賞状（サイズ、年号、印影）、⑨和文誌冊子体購読料の価格変更、⑩委員会委員数の削減（和文誌・英文誌・学活）、⑪Visionary シンポジウム、⑫サイエンスカフェの学術会議との共催の在り方、⑬会員情報等の情報管理、会員数の推移解析について、⑭農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成金の顕彰（大会期間中の授賞式）、⑮規程変更案、⑯高校生会員制度の新設、⑰日本微生物学連盟への協力、⑱化学系学協会連絡会への参加、⑲資料のペーパーレス化、⑳事務局関係

12月4日：①組織の変更案（理事と委員会の見直し）、②授賞選考における利害関係者の行動指針、③化学と生物の値上げ開始の時期および発行日、④ジュニア会員枠の新設（定款の変更と委員及び幹事規程の変更）、⑤2019年度大会プログラム集PDF版とWeb広告、⑥ジュニア農芸化学会の賞状の言語、⑦共催・協賛・後援の明文化、⑧2019年度予算案の方針、⑨Visionary シンポジウムの懇親会費（会議費5割規定）、⑩支部の普通預金の資金移動、⑪化学系学協会連絡会への参加報告、⑫公益法人法施行10周年シンポジウム参加報告、⑬事務局人事

2019年2月7日：①組織の変更（理事、委員会、WG）、②理事会、財務委員会の開催回数削減、③賀詞交歓会の形態の変更案、④2019年度予算案（全体、委員会別、支部別、100周年基金、人件費、大会）、⑤100周年基金の2018年度決算、⑥2019年度大会 当日受付の仕様変更、プログラム検索サイト画面上の広告枠、⑦2020年度福岡大会の会場、⑧講演会シンポジウム等要旨集のPDF化、⑨規程変更案、⑩企業活動表彰顕彰規程の新設、⑪事務局人事・給与

・JABEE対応委員会（1回）

3月16日：①2018年度の活動方針

・男女共同参画委員会（1回）

4月24日：①連絡会運営委員会について、②連絡会シンポジウムについて、③東京大会男女ランチョンシンポジウムの検討、④女子中高生夏の学校への参加、⑤連絡会幹事学会について

・農芸化学女性賞等授賞選考委員会（1回）

12月3日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

・創立100周年記念事業組織委員会（2回）

8月20日：①記念事業に関わる各活動の現状、②記念出版事業（漫画作成の件、その他）

1月7日：①出版事業に関する議論

・名古屋大会実行委員会（1回）

3月5日：①名古屋大会事前打ち合わせ

・東京大会実行委員会（1回）

5月14日：①大会概要説明、②会場確認、③役割分担の確認

### 【会員の状況】

2018年度（2019年2月28日現在）の会員数は次のとおりである。

	2018年度	2017年度	増減
名誉会員	15	15	0
有功会員	214	206	8
シニア会員	326	344	-18
一般会員	6,787	6,841	-54
教育会員	92	82	10
学生会員	2,642	2,751	-109
国外会員	57	50	7
団体会員	262	267	-5
賛助会員	97	97	0
（口数）	（196）	（196）	（0）
合計	10,492	10,653	-161

（2019年2月末現在）

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	国外	団体	賛助 （口数）	小計
前年2月末	15	206	344	6,841	82	2,751	50	267	97（196）	10,653
北海道支部	0	10	10	249	1	131	0	6	3（3）	410
東北支部	0	10	11	360	9	208	0	18	1（1）	617
関東支部	8	100	150	2,904	35	985	0	125	61（138）	4,368
中部支部	2	14	35	844	11	418	0	37	8（17）	1,369
関西支部	4	49	74	1,303	16	535	0	39	16（29）	2,036
中四国支部	0	15	20	637	10	240	0	25	5（5）	952
西日本支部	0	16	26	478	10	124	0	12	3（3）	669
国外	1	0	0	12	0	1	57	0	0	71
合計	15	214	326	6,787	92	2,642	57	262	97（196）	10,492
増減	0	8	-18	-54	10	-109	7	-5	0（0）	-161
入会	0	0	1	257	13	958	12	4	2（2）	1,247
復会	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
会員種別変更	0	13	4	692	-2	-707	0	—	—	—
休会	0	0	0	-7	0	0	0	-1	0	-8
退会	—	—	-19	-359	-1	-265	-1	-4	-1（-1）	-650
会費未納退会	—	—	-1	-163	0	-86	0	-4	-1（-1）	-255
会費滞納による 会員資格停止	—	—	0	-476	0	-9	-4	0	0	-489
逝去	0	-5	-3	-5	0	0	0	—	—	-13
口数変更	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—
合計	0	8	-18	-54	10	-109	7	-5	0	-161

新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	国外	団体	賛助	小計
2018年度入会	0	0	1	84	10	181	0	3	1	280
2019年度入会	0	0	0	173	3	777	12	1	1	967
計	0	0	1	257	13	958	12	4	2	1,247